

あそび

厚別区民のページ

2008年9月号



厚別区シンボルマーク

8月1日現在 ()は前月比
 厚別区の人口 129,371人 (+46)
 男 59,933人 (-6)
 人口・世帯数 女 69,438人 (+52)
 世帯数 54,308世帯 (+49)

厚別区総務企画課広聴係

編集

〒004-8612
 厚別区厚別中央1条5丁目
 TEL 895-2400 内線224~226
 FAX 895-2403

厚別人

- 厚別人とは -
 厚別区で、魅力ある
 さまざまな活動をして
 いる皆さんの総称です



北海道自然観察協議会理事

根岸 徹

Profile (プロフィール)

ねぎし・てつ

元高校の理科の教師。退職後はその知識を生かし自然観察指導員として活動する。厚別中央地区福祉のまち推進センター設立に携わり、現在は協力員としてサポートするなど、地域活動にも力を入れる。77歳。

スズムシの音色で広がる 地域交流の輪

厚別中央地区福祉のまち推進センターでは、夏休み中に児童が育てたスズムシをお年寄りに贈る交流会を行っています。この会を企画し、飼い方を指導しているのが、スズムシ飼育歴四十五年の根岸徹さんです。

「生き物を育てることで、自然を大切に育てる気持ちと命の大切さを学んでもらえれば、スズムシの飼育をきっかけに、ほかの昆虫にも興味を持ってもらえたら、なおうれしい」と思いを語ります。

昆虫の魅力

昆虫少年だった根岸さんは、八種類ほどの昆虫を飼育していたそうです。「成虫になると鳴く虫は、成長が分かりやすく飼う楽しみがある」と、その魅力を語ります。スズムシは飼育や繁殖がしやすいため、飼うのにお勧めといえます。

退職後の転機

退職後は、広く社会に役立つ活動をしたと考えていた

根岸さん。自身のモットーである「自然との共生」を生かせる場として、自然観察会など環境活動に取り組んでいるうち、人とのかわりも大事だと、地域の福祉活動にも力を入れるようになりました。その一つが、十年ほど前に、お年寄りにスズムシを贈り、その飼育を通じた交流を始めたことです。当初は、地域のお年寄りとの共通の話題を作るための活動でした。

世代間交流への発展

その活動が変わったのは五年前、地域の児童が飼育に参加したことです。

毎年九月に行われる交流会では、お年寄りにプレゼントしたスズムシをきっかけに、世代を超えて話が盛り上がり、今やスズムシ交流会は、子どもの環境教育や自由研究、世代間交流などに役立ち、一石何鳥にもなっている」と根岸さんはうれしそうに語ります。

自らの得意分野を生かした根岸さんの地域活動は、これからも交流の輪を広げていきます。

